

CAMPUS NOW

国立高専機構 新居浜高専 校報

No.213 2015.10



➤ 留学生対象の防犯・防災・交通ルール講話を行いました。



6月18日(木)、新居浜警察署のご協力により、本校留学生が犯罪被害に遭わないための心構えや災害時の対処、交通ルールについて講話をいただきました。

警察署の方から、外国人を狙った犯罪に巻き込まれることがないように普段から気をつけておくことや母国と日本との生活習慣の違いによるトラブル、緊急の場合の連絡方法などについて、わかりやすく説明していただきました。

最後に、本年度入学した留学生2人が、自転車運転シミュレーションマシンを体験し、自転車の交通ルールを確認しました。

➤ 高専体育大会激励会を実施しました。

6月27日(土)から7月12日(日)にかけて開催される四国地区高等専門学校体育大会、7月4日(土)・5日(日)に行われる全国高等専門学校弓道大会中四国予選及び11日(土)からの全国高等学校野球選手権愛媛大会に本校学生も参加します。

これに先立ち、6月25日(木)、学生会が主体となり、出場選手を激励する会を第一体育館で実施しました。



激励会では、迫原校長の激励の言葉や各クラブの代表者から大会へ向けた決意表明があり、大会に臨む選手達の意気込みが伝わってきました。その後、学生会会長の挨拶、応援団のエールがあり、試合に向け、選手たちを後押ししました。

➤ 1～4年生保護者懇談会等を実施しました。



6月27日(土)・28日(日)の2日間、1～4年生の保護者の方を対象に、学級担任との個別懇談会を開催し、2日間で延べ684名に参加いただきました。

本校では、この懇談会を学生指導上重要なものと位置づけており、学業や進路、学生生活等について懇談しました。

また、1年生学年別懇談会や2年生学科別懇談会、学寮関係者や学生相談室との懇談も設けました。保護者の方々が熱心に話を聞いている様子が見受けられ、とても有意義な時間となりました。

➤ **留学生が日本語スピーチコンテストに出場しました。**

6月28日(日)、新居浜市総合福祉センターでいはいま日本語の会主催「第13回日本語学習者による日本語スピーチコンテスト」が開催され、本校留学生で生物応用化学科3年のアンディカさん(インドネシア出身)と環境材料工学科3年のテンさん(ラオス出身)が出場しました。

習熟度別5部門に21名の外国人の方が参加し、アンディカさんは上級の部(発表時間5分)に「私の大事な家族ー私が今ここにいる理由」というテーマで、テンさんは中上級(同4分30秒)に「はじまりの一步」というテーマで発表しました。

アンディカさんとテンさんはともに日本留学を決意したきっかけを中心に、母国の家族の支えとそれに対する感謝の気持ちを述べ、審査員や聴衆の心を動かすスピーチをしました。

審査の結果、アンディカさんが部門2位、テンさんが部門1位を獲得し、表彰されました。二人は自信をつけるとともに、日本語能力試験合格に向け、今後も日本語の勉強を続けていくと決意を新たにしていました。



➤ **高専ロボコン 2015 学内プレゼンテーションを開催しました。**



10月25日(日)に香川高専詫間キャンパスで開催される全国高専ロボコン2015四国地区大会(テーマ:輪花繚乱^{わっかりょうらん})に向け、7月3日(金)、出場2チームによる学内プレゼンテーションを開催しました。

本校から出場するA・Bの両チームとも、本年度の競技課題である「輪投げ合戦」に適したロボット製作に向け、現在までに考えているアイデアについて、プレゼンテーションをしました。

発表後の質疑応答では、教員から安全面や技術面からアドバイスがありました。今後も定期的に各チームの報告会を開催することとしています。

➤ **第2回全国高専弓道大会中四国予選に出場しました。**

7月4日(金)、5日(月)、宇部市中央公園弓道場(山口県)で第2回全国高専弓道大会中四国予選が開催され、本校弓道部が参加しました。

各選手とも長旅による疲れを見せず試合に臨み、3年機械工学科浅野惇さんが男子個人の部で準優勝をし、8月25日(火)、26日(水)に行われる全国大会(奈良高専主管)へ出場することになりました。出場した選手の結果は次のとおりです。

男子団体	4位
女子団体	5位
男子個人	3年機械工学科 浅野惇 準優勝



➤ **学生会による七夕祭を実施しました。**

7月7日(火)、学生会が主体となって七夕祭を実施しました。

この催しは本年度初めて実施し、当日の朝早くから学生会が校内に笹を計12箇所設置し、予め全学生に配っておいた短冊に願い事を書いてもらい、それを笹に結び付けました。また、学生限定で、



短冊を書いてくれた人の中から抽選でプレゼントも準備しており、さらに、学生会として実現できそうな願い事については、可能な範囲で対応を考える、といった内容です。

当日はあいにくの雨模様でしたが、休み時間には笹の設置箇所によく多くの学生が集まり、皆笑顔でたいへん賑わっていました。また、教職員も短冊に願い事を書き、学生とともに七夕祭を楽しみました。

➤ **中学生が本校で職場体験学習をしました。**

実社会での仕事を体験し、中学校では学び得ないことを経験してもらおうと、新居浜市立南中学校から依頼を受け、7月7日、8日の2日間、2名の生徒が本校の図書館にて職場体験学習をしました。

窓口業務や書架整理、図書館システムによる発注・受入れ作業などの図書館業務を体験してもらいました。



普段の学校生活とは環境が違い、緊張している様子でしたが、どの作業にも丁寧に取り組んでくれました。

この経験を生かして、これからも色々なことに挑戦して欲しいと思います。

➤ **同窓会青年部による「第1回超・交流会」が開催されました。**

7月9日(木)、同窓会東予支部「国領会」に新設された青年部主催による「第1回 超・交流会」が開催され、青年部OB・OGや本校学生ら約40名が尚友会館内学生食堂に集い、交流をしました。

青年部OB・OGは学生と比較的年齢に近いこともあり、学生は就職等の進路に関することから人生設計まで、身近な疑問や悩みを率直に相談していました。会場ではデザートや飲み物が提供され、和やかな雰囲気の中、交流が行われました。



参加した学生からは、「先輩と直に話すことができよかった」、「先輩方も学生時代にいろいろ悩んでいたことがわかって、安心した」などの声が聞かれました。

青年部では、好評につき、次回開催も計画したいとのことでした。



➤ **第19回高専ソコチカラを開催しました。**

7月11日(土)、新居浜市市民文化センターで第19回高専ソコチカラを開催しました。

高専ソコチカラは、文化部、文化系愛好会がそれぞれの日頃の成果を披露する合同発表会で、学生が主体となって、毎年春(3月頃)と夏(7月頃)の2回開催しています。

第19回の参加クラブは次のとおりでした。

＜演技＞

吹奏楽部、奇術部、演劇愛好会、DANCE愛好会、軽音楽部、声楽愛好会、美術部

＜展示＞

写真部、文学漫画創作愛好会、美術部、書道愛好会、天文愛好会、マルチメディア愛好会

当日は多くの学生や一般の方々に会場は熱気であふれました。参加した部、愛好会はそれに負けない情熱で、いきいきと披露し、盛況のうちに幕を下ろしました。次回、第20回は来年の3月6日(日)開催を予定しています。お楽しみに！



➤ **高校野球選手権愛媛大会に出場しました。**

7月11日(土)から始まった第97回全国高等学校野球選手権愛媛大会に本校硬式野球部(低学年)が出場し、7月15日(水)、西条市ひうち球場で行われた初戦で新居浜工業高等学校と対戦しました。接戦となりましたが2対1でサヨナラ勝ちし、2回戦に進出しました。双方が精一杯力を出し切り、試合後、新居浜工業高等学校から激励をいただき、双方の野球部員と一緒に写真撮影をする場面もありました。



2回戦は7月19日(日)、伊予農業高等学校と対戦しました。序盤、立ち上がりを攻め込まれ劣勢となりましたが、9対3で勝ち、3回戦進出、ベスト16入りを決めました。

続く3回戦は7月21日(火)、川之江高等学校と対戦しました。序盤、先制点を奪われるも裏の攻撃で取り返しましたが、川之江高等学校の猛攻により、1対12で敗北を喫しました。

3回戦進出は3年ぶりですが、夏の大会で2勝したのは32年ぶりとなります。

学生監督の生物応用化学科 4年の一色 竜輝さんは「春以降、故障者も多く出て仕上がりは良くなかったが、3年生が最後に力を出して頑張ってくれた。秋、春に続いて何度も校歌を聞かせてくれてありがとうと言いたい。家族をはじめ周囲の支えや励ましもありがたかった。新チームも彼らに続いて頑張ってもらいたい。」とエールを送っていました。

➤ **あかがねミュージアムオープニングイベントに本校学生が参加しました。**

7月18日(土)、あかがねミュージアム(新居浜市総合文化施設)オープニングイベントのくす玉割りに、本校1年4組の真鍋 沙綾さんが参加しました。

昨年、本施設の愛称の募集があり、当時新居浜市立南中学校に在学していた真鍋さんの作品が本施設の愛称に選ばれたのがきっかけとなり、本イベントに参加しました。

くす玉割には石川新居浜市長や他校の生徒も参加し、司会者のかけ声に合わせて、一斉にくす玉が割られました。

20日(月)まで開催された本イベントには、多くの方が来場しており、また、本校の奇術部・吹奏楽部・DANCE愛好会も出演し、会場を大いに盛り上げていました。



➤ **本科2年生を対象に「煙草が与える身体への悪影響について」の講話を開催しました。**

7月24日(金)、本科2年生の特別活動の時間において、「煙草が与える身体への悪影響について」の講話を開催しました。



「医療法人かとうクリニック」院長であり、日本禁煙学会理事、タバコフリー愛媛会長、新居浜市医師会タバコの無い環境推進委員会委員長等を務められている加藤正隆先生を講師にお招きし、映像や学生への質問を交え、受動喫煙の害、禁煙のメリットなどについてお話をいただきました。

聴講した学生は、喫煙への認識を新たにしました様子で、貴重な講話となりました。

➤ **学生相談に関する研修会を開催しました。**

7月31日(金)、西条保健所健康増進課精神保健係の篠原 あゆみ 氏、田内 睦 氏をお迎えし、「こころのスキルアップ教育～認知行動療法を用いて～」と題して学生相談に関する研修会を開催し、教職員約50人が参加しました。

思春期にある若者のこころのサポートとして、教職員が学校現場で認知行動療法を実践することにより、若者が生活上の問題やネガティブな気分を自分自身で改善することを目的とする内容で、事例等を交えながらたいへんわかりやすく説明していただきました。

短い時間でしたが、若者のこころのサポートについて学ぶ、貴重な機会となりました。



➤ **平成27年度科学研究費助成事業説明会を開催しました。**

8月5日(水)に本校第一会議室において、科学研究費助成事業の仕組み、審査の観点、申請書の書き方等についての理解を深め、科学研究費の申請・採択件数の増加を目的とした説明会を開催しました。



今回は、広島大学大学院工学研究院都留稔了教授を講師に迎えて開催し、本校教職員51名が参加しました。

【科研費申請のポイント】と題し、申請のポイントについて、審査の観点およびご自身の経験を踏まえた説明がありました。

参加者は、研究計画調書を作成するうえで気になっていることなどについて質問をし、今後の申請に対する意欲が高まった様子でした。

➤ **平成27年度夏季体験学習を実施しました。**

8月8日(土)・9日(日)の2日間、中学生を対象に夏季体験学習を開催しました。

この体験学習は、中学生にとって分かりやすく、興味を持てるようなテーマを設け、本校の施設や実験装置を使いながら中学生にもものづくりの魅力を体験してもらうとともに、進路決定の一助としてもらおうと企画しているものです。

今年度も、5学科10テーマに2日間で延べ972名の中学生が参加し、高専生や教職員からアドバイスをもらいながら、ものづくりに取り組みました。

また、この体験学習に併せて、引率の教員や保護者の方を対象に、新居浜高専の紹介や進路説明等を行う懇談会を開催し、200名を超える参加がありました。

ほかにも、希望者を対象に学寮見学を実施し、寮生が居室や食堂等を案内しながら、寮生活の様子を中学生や保護者の方に紹介しました。

☆テーマ☆

機械工学科	4輪バギーを作ろう！ エンジンのしくみを知ろう！
電気情報工学科	音楽を持ち帰ろう！ 人を感知するおもちゃを作ろう！ パソコンを組み立てよう！
電子制御工学科	ゲームプログラミングに挑戦！ ポータブルゲーム機を作ろう！ ボーカロイド・オルガンを作ろう！
生物応用化学科	化学屋敷！
環境材料工学科	材料の魅力、おもしろさ 知りたいんだからあ♪



➤ **中学校技術科教員 夏季実技研修会を開催しました。**

8月17日(月)、中学校の技術科教員を対象に夏季実技研修会(後援 新居浜市教育委員会)を開催しました。本研修会は、生徒の科学技術に対する興味や関心を高め、知的探求心を育成することを目的としており、中学校教員に工作等の教材を紹介する機会として、毎年開催しているもので、今回は愛媛県内の技術科教員12名の参加がありました。

本年度は、「ものづくり体験、機械加工実習編」、「ペーパークラフトで作る遊星歯車」というテーマで研修会を行いました。

午前の研修では、機械実習工場において、ものづくり教育支援センターの技術職員が講師となり、旋盤・フライス盤・溶接・鍛造・鋳造・ボール盤の6種類の機械の説明を行い、参加者に機械加工を体験していただきました。参加者は積極的に講師に質問を行い、本格的な工作機械に興味を示していました。



午後の研修では、遊星歯車のしくみについての基礎講座を行った後、模型の組み立てや、紙を用いた歯車の製作などに、参加者は熱心に取り組んでいました。

主催した本校ものづくり教育支援センターでは、中学校技術科教育の一助となるよう、今後もこのような活動に取り組んでまいります。

➤ **小・中学校理科教員 夏季実技研修会を開催しました。**

8月18日(火)、小・中学校の理科教員を対象に夏季実技研修会(後援 新居浜市教育委員会)を開催しました。本研修会は、児童生徒の理科や科学技術に対する興味関心を高め、知的探求心を育成することを目的としており、教員に理科実験や専門的な内容を紹介する機会として、毎年開催しているもので、今回は19名の参加がありました。

本年度は、「見て、聞いて、作って楽しい！授業のできるかんたん理科実験」、「生徒の興味を引くのに役立つ？かもしれない、小ネタ集 part II」というテーマで研修会を行いました。

午前の研修では、前半は光をテーマとして、塩水と水道水を使って2種類の虹をつくる実験や、光の三原色の組み合わせによってどんな色も表現できることをパソコンを用いて体感しました。また、黒い厚紙と虫眼鏡を用いた望遠鏡の作製を行いました。



後半は、音をテーマとして、カップラーメンの容器を使ったスピーカーの紹介や、ストローを使った音の実験を行い、各自が様々な音を出し、会場内は大変盛り上がっていました。

午後の研修では、4つの内容の研修を行いました。まず、授業で図形の体積を求める際に、式のみの説明よりも理解が深まる立体模型の紹介を行いました。

続いて、金属の溶解体験として青銅鏡の作製を行い、錫に銅が溶け込む様子を観察しました。さらに、プラスチックのリサイクルについての説明を行った後、発泡スチロールをリモンという化学物質で溶かす実験を行い、参加者は興味深く取り組んでいました。

最後は、ヘロンの蒸気機関のしくみの説明を行い、児童や生徒にも実際に体験してもらいたいドライ

アイスを使った実験等を行いました。

主催したものづくり教育支援センターでは、地域に身近な高専として小・中学校の理科教育の一助となるよう、今後もこのような活動に取り組んでまいります。

➤ **ものづくりフェスタ in 松山2015を開催しました。**

8月21日(金)、22日(土)の2日間、愛媛大学の協力を得て、同大学城北キャンパスにて「ものづくりフェスタ in 松山2015」を開催しました。

この催しは、理工系に興味のある小中学生を対象に、夏休みを利用して「科学の不思議」や「ものづくりの楽しさ」を体験してもらうために開催しており、今回で11回目となります。

「遊星歯車ペーパークラフトを作ってみよう!」、「ソーラーカーを作ろう!」という2講座に、2日間でのべ105名の小中学生が参加しました。参加者は、本校教員や補助学生のアドバイスを受けながら趣向を凝らした作品作りに熱心に取り組み、ものづくりの楽しさを満喫しました。



期間中、空気の力を体験する簡単な実験と、液体窒素実験コーナーも設置し、講座を終えた参加者が興味深く見入っていました。

また、「受験に関する相談会」では、保護者を対象に、本校教員が新居浜高専の紹介や入試制度の説明等を行いました。

○「遊星歯車ペーパークラフトを作ってみよう!」

小学生は、絵柄が変わるサイコロやカライドサイクル作り、中学生は、ケント紙と段ボールを使った遊星歯車ペーパークラフト作りに挑戦しました。

○「ソーラーカーを作ろう!」

太陽光で走るソーラーカーをペットボトル等を使って製作し、太陽光発電についても学びました。



➤ **高専フォーラムにおいて本校教員がオーガナイザーを務めました!**

8月26日(水)~28日(金)の3日間、東北大学川内キャンパスにおいて「平成27年度全国高専フォーラム(ひろがる/ひろげる~仲間作り/きっかけ作り~)」が開催され、本校生物応用化学科 桑田茂樹教員と西井靖博教員が28日(金)10:30~12:00のセッション「学外学習を通じたキャリア教育」のオーガナイザーを務めました。セッション会場がほぼ満員になる45名の参加者があり、5件の事例発表に対して活発な質疑応答が行われました。セッション終了後も、参加者10名ほどが同会場にて引き続き1時間ほど意見交換するなど大変有意義な機会となりました。

1. セッション概要の説明

2. 事例発表(発表10分、質疑応答5分)

理系が専門でない人に説明する工夫を促した「考えさせる」創成教育の実践

旭川高専 電気情報工学科 篁 耕司 氏

地域貢献プロジェクトによる学びの場作り ~学外学習を通じたキャリア教育~

明石高専 建築学科 平石年弘 氏

阿南高専におけるコーオプ教育の取り組みと成果

阿南高専 機械工学科 原野智哉 氏

高専スペース連携による実践的若手宇宙人材育成について

高知高専 電気情報工学科 今井一雅 氏

出前授業とPBL科目の融合によるハイブリッド型地域連携教育とその効果

新居浜高専 生物応用化学科 西井靖博 氏

3. 全体討論

また、27日(木)13:00~16:00のセッション「高専の産学共同研究プロジェクト成果～事例発表～」において、本校環境材料工学科 日野孝紀教員が「旧青函連絡船「羊蹄丸」のシップリサイクル国際条約適合までの産学共同事業の取組み」について発表を行いました。

この「全国高専フォーラム」は、昨年度まで個別に行われて来た「全国高専教育フォーラム」と「全国高専テクノフォーラム」を統合再編して開催され、平成27年度が第一回となりました。



➤ 第26回全国高専プログラミングコンテスト中間発表会を開催しました。

10月11日(日)・12日(月・祝)に長野市で開催される第26回全国高専プログラミングコンテスト本番に向け、9月1日(火)、課題及び自由部門の2チームによる中間発表会を開催しました。

本校からは、課題・自由・競技の各部門の予選を通過した3チームが、全国大会に参加します。中間発表会では、各チームがプログラムのコンセプトや特徴などについて、本番を意識しつつ発表しました。

発表後の質疑応答では、教員からアイデアの発展性や発表で説明すべきことなどのアドバイスがありました。

今回、4年生がインターンシップで不在のため競技部門の発表はありませんでしたが、各チームは、本番直前まで改良を加え、よりよい作品を提出すると意気込んでいました。



【本校出場チームについて】

課題部門 「防災・減災対策と復興支援」	Our Maps ー災害図上訓練支援システムー
自由部門 「自由なテーマで独創的な作品」	脊椎でみる骨粗鬆症診断
競技部門 「石畳職人Z」	レイオーバー・ネットワーク！

➤ **高専スペースキャンプ in 四国2015を開催しました。**

9月3日(木)～6日(日)、新居浜市のマリパーク新居浜及び黒島海浜公園において、「高専スペースキャンプ in 四国2015」を開催しました。

この催しは、平成26年度に採択された「国立高専超小型衛星実現に向けての全国高専連携宇宙人材育成事業」の一環として行われました。高知高専が主管校となり、本校が会場校として参加したほか、徳山高専、香川高専、奈良高専、岐阜高専、明石高専、米子高専、群馬高専、鹿児島高専の計10校が参加しました。

4日(金)には、日本大学理工学部 航空宇宙工学科 宮崎康行教授による講演「人工衛星をつくる-設計から打ち上げまで-」が開かれたほか、モデルロケット製作講座等が行われ、その後本校において、高知高専 電気情報工学科 今井一雅教授による「Raspberry Pi2 衛星講座」等が行われました。

5日(土)午前には、モデルロケットの打ち上げにより、できるだけ長く空中に滞在した上で、できるだけ打上場所の近くに落下させる技術を競う「高専モデルロケット大会」を開催しました。また、午後は係留気球から缶サット(模擬人工衛星)を投下し、定められた時間内に実施するミッションの内容を競う「高専缶サット大会」を開催しました。



上記の大会には、本事業の研究分担者である本校電気情報工学科の若林誠講師の引率のもと、本校の学生3名が、チーム名「Green Earth Japan」として出場し、楽しみながら理解を深めていました。また、「高専缶サット大会」で優秀賞を受賞しました。

➤ **岡山県倉敷市において、本校初の県外出前授業を行いました。**



9月10日(木)～11日(金)の2日間、学生主体型の出前授業を、岡山県倉敷市児島にある下津井西小学校及び琴浦西小学校において行いました。本校が県外の学校において出前授業を行うのは初の試みであり、生物応用化学科 桑田茂樹教授 西井靖博准教授の引率のもと、同学科の学生6名が参加しました。なお、本取り組みはJSPS科研費25350219の助成を受けたものです。

下津井西小学校は全校児童65名で、1～6年生全員を対象に出前授業を行いました。授業の内容としては、身近な物を使って電池を作る実験と液体窒素を使った実験を行い、児童達は理科実験に大変興味を示していました。また、指導した本校の学生も一緒に楽しく実験を行いました。この小学校は瀬戸内海に面した漁村にある学校で、普段科学イベントなどに参加する機会が少ないと校長先生からお聞きし、出前授業の重要性、意義を一層強く感じる貴重な機会となりました。

琴浦西小学校では、身近な電池の実験を5年生2クラスに行いました。児童達はとても積極的に参加し、大いに盛り上がった出前授業となりました。また、参加した本校の学生が同小学校の卒業生であり、理科室を懐かしがるとともに、後輩達への指導についても力が入っていました。

身近にある野菜や果物、バーベキューなどに使う備長炭を用いて電池を作り、モーターやオルゴール

ルを鳴らして、電池の性能比べをしました。

液体窒素を使った実験では、校庭にある葉っぱや草を瞬時に凍らせてバラバラにする実験や、バナナで釘を打ったりボールを凍らせて粉砕する実験をしました。

➤ Honda エコ マイレージ チャレンジ2015に初出場し、完走しました。

9月19日(土)、20日(日)の2日間、栃木県「ツインリンクもてぎ スーパースピードウェイ」において、「Honda エコ マイレージ チャレンジ2015」(本田宗一郎杯 第35回 全国大会)に、本校機械工学科が初出場し、85チーム中49位ながら完走を果たしました。



本大会への出場は初の試みで、機械工学科 松田雄二教授の引率のもと、11名の学生が参加しました。決勝当日、約5か月かけて製作してきたマシンは、順調にスタートラインに立つことができました。秋空の下、自信と期待を乗せて、No.316のマシンは一発でスタート。1週目は予定通りのタイムで周回しましたが、2週目のバックストレートにてエンジンがかからないトラブルが発生、コース外側に停車、トラブル解消作業・・・、約5分後、エンジン再スタート、コース復帰・・・無事に制限時間内にゴールすることができました。時間的な遅れを取り戻すため、予想以上に燃料を消費してしまいましたが、完走し順位と記録が得られたこと、トラブルがあっても諦めることなくチームワークによって乗り越えられたことは、学生にとっても非常に貴重な経験となりました。

来年度の出場に向けて、やりたいこととやるべきことが見つかった大会となりました。

【結果詳細】

グループⅢ(大学・短大・高専・専門学校生クラス)

順位 : 49位(85チーム中、完走 52チーム)

燃費 : 193.825km/L

平均速度 : 27.100km/h

★以下、大会を終えた学生の感想と今後の意気込み★

生産工学専攻 機械工学コース2年 鈴木駿輝

大会前、大会中と多くのトラブルと遭遇しましたが、無事に完走して結果を残すことができ、チームマネージャーとしての役目を果たすことができたのかなと感じています。

来年度はOBとして、さらに上の結果を目指せるよう後輩達をサポートしていきます！

機械工学科3年 伊藤睦実

本大会を経験して、トラブルフリーの車体の設計という新たな課題を見つけました。今後はその課題解決に向け、車に関する知識の向上に励みます。また来年度は女子チームを結成し、二人乗りクラスに挑戦します。機械系女子のパワーで頑張ります！

➤ 第44回学生書道コンクールにおいて学生が2年連続で受賞しました。

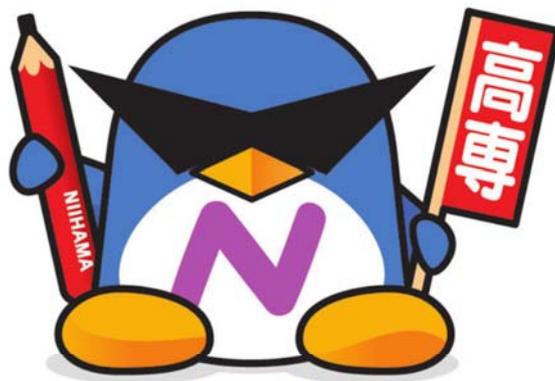
第44回学生書道コンクール(毎日新聞社主催)において、環境材料工学科3年で、書道愛好会の神野佳子さんが前年度に引き続き、本年度も推薦を受賞しました。この賞は、3万473点の応募作品

の中から課題ごとに若干名「推薦」として選ばれるものです。(コンクールの詳細はサンデー毎日2015年9月6日号に掲載されています。)

神野さんは、「2年連続すばらしい賞をいただき、非常に嬉しく感じています。熱心な先生のご指導のおかげでもありますが、賞をいただくことにより、改めて自分の成長を実感することができました。これからも日々精進し、私らしい作品をつくっていきたいです。」と受賞した感想を述べていました。

今回笑顔で撮影に応じてくれた神野さんからは、これからのやる気と熱意が大いに伝わってきました。今後、よりいっそうの活躍を期待しています。





技術で羽ばたけ
世界へ未来へ
～新居浜高専～



国立高専機構

新居浜高専

National Institute of Technology, Niihama College

〒792-8580 愛媛県新居浜市八雲町7番1号
TEL (0897)37-7700 FAX (0897)37-7842